

令和5年度 島根県立浜田ろう学校 学校評価

A. 達成している B. ほぼ達成している C. あまり達成されていない D. 全く達成されていない E. 判断できない

質問項目	教員					保護者					自己評価 成果と課題・改善策	外部評価		
	A	B	C	D	E	平均	A	B	C	D			E	平均
1. 本校のランドデザインを知っていますか。	6	18	1	0		3.2	0	4	4	0		2.5	・ランドデザインをデジタルサイネージで見ることができるが、スライドが変わってしまうので、印刷をして生徒玄関、職員室、正面玄関に掲示していく。 ・本格的に始まったランドデザインの実現のための取組の2年目であるが、その周知についてはまだ課題があることが分かった。ランドデザインのシンボルとしての周知と具体的な取組内容の周知・実行を行い、幼児生徒・保護者・地域へ発信をしていきたい。 ・PTA総会での配布、デジタルサイネージへの縮小版の表示、本学校評価アンケート項目に盛り込む等の取り組みをした。生徒へは始業式等で学校教育目標を繰り返し伝えた。教職員でランドデザインを再度共有し、教育活動の中で具現化できるように努力していく。そのうえで、実践成果を保護者や地域と共有できるようにしていきたい。	B
2. 「自ら考え 自ら判断し 自ら行動する」幼児生徒を育てていますか。	5	19	1	0	0	3.2	3	5	0	0	0	3.4	(幼小部) ・繰り返しの経験や言語化する支援が幼児の成長につながったと考える。 ・時間の都合で「自ら考え自ら判断し自ら行動する」幼児を育てるための指導ができないこともあった。子どもを待つ時間を作るなど活動内容・単元計画の見直しをしていく。	B
3. 本校は、聴覚や視覚に障がいのある子どもたちへ障がいの状況や発達段階に応じた的確な指導や支援ができていると思いますか。	6	19	0	0	0	3.2	5	3	0	0	0	3.6	(中高部) ・個別学習の良さを生かし、学部研究も意識しながら来年度もこれまで通りの指導を継続しながら、新たな方法の模索を続けていく。	B
4. 本校は、言葉の力、学力を伸ばす授業づくりを行っていると思いますか。	6	19	0	0	0	3.2	4	4	0	0	0	3.5		B
5. 本校は、地域と連携した活動や学校行事等を通して、地域とつながる学校づくりを行っていると思いますか。	9	15	1	0	0	3.3	4	4	0	0	0	3.5	・70周年記念浜ろうフェスティバルでは、校内オリエンタリングを通して、生徒が参加者を引率して校舎内を説明して歩いたり、浜ろうの歴史紹介ビデオを作成して紹介したりすることができた。 ・生徒会でひまわりプロジェクトに参加し、校内でヒマワリを育て、収穫した種を福島に送ることができた。 ・学校運営協議会の提案を受けて、卒業生との交流会、手話学習会、作品展示などを実施した。地域のニーズを把握しながら、本校の魅力発信を行い、地域のリソースの一つとして価値づけてもらえるように取り組んでいきたい。	A
6. 本校の学校給食は「おいしく楽しく元気になる学校給食」であると思いますか。	24	1	0	0	0	4.0	6	2	0	0	0	3.8	・大きな事故もなく安心安全な給食を提供できた。給食を通した食育については、今年度、新たに市内共有献立「野菜たっぷり100」「すこやかうましお献立」「手前みそしるりレー」を導入し食事を大切にする子どもたちの育成につとめた。また、実態に合わせた「子どもたちが作るお弁当の日」、5年ぶりの「親子ふれあい給食」を実施し、おいしく楽しく元気になる給食に向けて取り組むことができた。次年度は親子給食の持ち方と子どもたちのさらなる自立に向けて計画していきたい。	A
7. 本校の部活動は子どもの社会性を育てていると思いますか。	12	12	1	0	0	3.4	4	1	1	0	0	3.5	・卓球部は、卒業生や社会人と日ごろから練習をしたり、大会や他校との練習を通して同年代の生徒と交流を深めたりしていくことができた。 ・野球部や剣道部は他校と合同で部活動に取り組み、集団での活動を通して社会性を育てることができた。	A
8. 学校事務は、教育活動を支える学校事務となっていると思いますか。	16	8	1	0	0	3.6	2	6	0	0	0	3.3	・新任者が多く、初動対応が遅れるなどの問題があり、課題も多かったが、その分、校内事情を把握することができたので、次年度は活かせる事が多くなると感じている。	B
9. 本校は、専門性を生かして地域の難聴児、弱視児等の支援ができていると思いますか。	14	11	0	0	0	3.6	4	4	0	0	0	3.5	・求められる支援に対応できるよう、日々情報の収集及び発信、担当者同士の情報交換等に努めた。HPを活用した関連情報の発信に心がけたが、より情報発信を充実させていきたい。校内研にて支援部の取組について校内発信させてもらう機会はとても有用だった。	A
10. 学校からの便り（学校便り、保健便り、給食便り、進路便り等）は、役立っていると思いますか。	8	17	0	0	0	3.3	2	6	0	0	0	3.3	・学校だより（年3回発行）では子どもたちの学校生活での様子等の情報発信を行った。また、保健だよりや給食だよりでは感染症や心と体の健康にかかわる情報等、保護者や子どもたちに伝えたい内容を必要に応じて発行し、情報発信を行った。 ・今後も引き続き内容の充実に向け情報発信をしていきたい。	A
11. 保護者同士、保護者と教員の関わりを持つことができていると思いますか。	8	17	0	0	0	3.3	1	6	1	0	0	3.0	・PTA親子活動では数年ぶりに茶話会を設定し、参加された保護者同士、教員とのかかわりの場を持つことが出来た。保護者アンケートを参考にさらに保護者同士、教員とのかかわりが持てるような企画・運営に努めていきたい。	B
12. 幼稚部は、季節を感じ、気づきや驚きのある体験活動を大切に、豊かな心とことばの力、コミュニケーションの基礎を育める教育を行っていますか。	11	14	0	0	0	3.4	3	0	0	0	0	4.0	・「ぼかぼかの日」に活動を共にしたり、振り返りシート等を活用し学校での様子を子どもから保護者に伝えたりと、保護者に学校での取り組みが伝わっていると考えている。 ・廊下の掲示物などを通して季節を感じ話題にすることができた。	B
13. 中学部は、生徒一人一人の力にあった教材を用いたり、カリキュラムを工夫したりして、基礎的な学力を身につける授業を行っていますか。	7	18	0	0	0	3.3	3	1	0	0	0	3.8	・個々の学力や発達に合わせた指導を今後も継続し基礎的な学力の定着を目指していく。	A
14. 高等部は、生徒一人一人の個性や興味、進路希望などに応じたカリキュラムで力を伸ばす授業を行っていると思いますか。	9	16	0	0	0	3.4	1	1	0	0	0	3.5	・卒後を見据え、適切に現場実習などの機会を設け、進学を目指す生徒に合わせたカリキュラムで力をのばす指導をおこなっていく。	A